

宮水コミスク通信

令和4年度
第3号
令和5年2月16日(木)
日之影町立宮水小学校

第3回学校運営協議会終わる

【日程】令和5年2月14日(火) 13:30~15:40

- 1 開会行事(学校長あいさつ等)
- 2 学校による説明

まず、本年度の取組の結果説明を教頭が行いました。「学力の向上」「豊かな心の育成」「すこやかな体の育成」「家庭・地域との連携・協働」の4つの視点について、学校の自己評価及び保護者評価を基にプレゼンを使って委員の皆様方に説明しました。次に、この評価結果を踏まえ、次年度の学校経営の方向性について校長が説明しました。次年度は、目指す児童像等、大きな変更はないが、手立てを工夫したいということを説明しました。



3 授業参観

主に、子どもたちの学習態度について熱心に参観していただきました。



【たんぽぽ学級】



【1年生教室】



【6年生教室】

4 グループ協議

グループ協議では、「授業参観の感想」「本年度の取組の結果及び次年度の学校経営の方向性について」「次年度の学校運営協議会のあり方」について短い時間でしたが、熱心に協議していただきました。子どもたちのがんばっている点についての御意見をいただきましたが、「授業中の姿勢」や「先生に対する反応(言葉遣い等)」が気になったという御意見もいただきました。また、次年度の学校運営協議会でも6年生の参加を希望するという御意見も出されました。



【グループ協議の様子】

※グループ協議の主な内容は裏面に印刷してあります。

5 全体会(各グループの報告)

6 閉会行事

校長のあいさつ後、町教育委員会からの説明がありました。最後に、アンケートに記入していただき、全てを終了いたしました。今回いただいた様々な貴重な御意見は、しっかりと今後の学校経営に生かしてまいります。

【授業参観の感想】

- 低学年は先生主導、高学年は児童の自主性を尊重しながらといった様子の授業で、どの学年もその学年らしさが出ていた。
- タブレットの操作について、低学年もよく慣れている様子が伺えた。
- 低学年は、授業中の発表の声が大きかった。特に、1年生は反応が良く、授業に臨む態度がすばらしかった。
- 低学年は積極的な発表が目立った。（他の学年は、たまたま発表の場面ではなかったというものもあるが）
- 低学年の鉛筆の持ち方がとてもよかった。
- 黒板の方を向いて顔だけ電子黒板という学年がほとんどだったが、1年生は、電子黒板の方に机を向けており、しっかりと話を聞いているようで自然な感じがして良かった。
- どの学年も掲示物が充実していた。
- 先生に対する言葉遣いが気になった学級があった。学年が上がるにつれて学校にも慣れ、気の緩みが生じているのではないかな。和気あいあいなのはいいが、けじめのある態度が大切ではないかな。
- 指示が曖昧な場面を見かけた。もう少し、メリハリのある明確な指示だとよい。
- 字を書く時に目が近い児童がいた。授業の始まり時は立腰しているが、徐々に姿勢が悪くなっているような気がした。
- 机の上の整理整頓ができていない児童を見かけた。授業に必要なものは、片付けさせた方がよい。
- 椅子におしり半分で座っている児童がいた。
- 教室の温度に違いを感じた。（教室によって換気に差があったのかもしれない）

【本年度の取組の結果及び次年度の学校経営方針説明について】

- ICTの活用について評価がやや低めに出ているのは、子どもが家でタブレットを使用している姿をあまり見ないからではないか。タブレットを使った家での宿題をもっと出してもらえるとよい。
- 学校でも紹介した漫画シリーズの電子書籍は、楽しんで読んでいる。
- もう少し調べ学習のような形の宿題を出してもよいのではないかな。
- 中学生は、いつもタブレットを手に持ち、気になったことや興味をもったことがあるとすぐにタブレットで調べる姿がある。そういうレベルに持っていけるとよい。
- キーボード部分と離して、タブレット画面だけの操作や持ち運びも考えると、もっと利用するのではないかな。
- 読み聞かせボランティアや、図書活動推進員の方の読み聞かせをととても楽しみにしている。その影響からか、低学年では、児童同士で互いに読み聞かせをする姿も見られる。
- 本を借りるときの推進員さんのおしゃべりや、読書の貯金通帳等の取組が児童も楽しみな様子で、児童の読書活動を励ましている。推進員さんに、自分の探している本が図書室にあるかを尋ねたりする姿など、見ていて微笑ましい。
- 中学生は、試験勉強等も兼ねて、町図書館の利用が増えている。小学生にもよい影響があると思う。
- ICTの活用と、アナログな読書の推進は、ある種相反する面があるのではないかと感じられる。私たちが読書を推進するのは、児童に何を求めているからなのかをもう一度整理してみたい。
- 児童の自主性を育成する上で効果的だった児童集会は、定期的に行うと良い。
- 自主性を育てるには、ある程度子どもに任せた方がよい。手出しし過ぎず、待つ姿勢も大切。
- 中学校では、1分間スピーチを実施している。鍛えるうえでも、人前で話をする経験を通して、たくましさを育ててほしい。
- 家庭との連携をよくやっていると感じた。（アンケートなども多かった）
- 学校からの文書を、後から子どもが出してくることがあるので、学校からもメールで知らせてもらえるとありがたい。慌ててアンケートを書くので、実際と少し違ってしまうこともある。
- 休み中の家庭でのタブレットは、自由研究の調べ学習やまとめなどで使用した。以前のように模造紙に写真を貼り付けたりする作業と比べて便利に感じた。家庭での調理実習など、家での学習の様子を動画で撮ることに活用した。
- 次年度、子どもたちの主体性やリーダーの育成をするためには、子どもの声をもっと生かすとよいのではないかと考える。先生たちが決めたことに沿って動くのではなく、小さいこと（例えば、競技の入退場曲を自分たちで決めさせるなど）でよいので、子どもたちにできることをさせると喜びもあり、進んで取り組むと思う。

【今後の学校運営協議会の在り方について】

- 子どもたちが会に参加するのはとてもよかった。子どもたちの意見を聞く機会があるとよい。子どもたちにとっても、自分たちを見てくれている、地域の方も見ているという意識をもつことができると思う。

